

令和4年度

室津海駅館 特別展

描かれた室津

～ 竹久夢二から森崎伯霊まで ～



浄運寺より明神山 森崎伯霊 浄運寺蔵



室の津 竹久夢二 個人蔵

期間

令和4年
10月8日(土)～11月27日(日)

会場

たつの市立 室津海駅館

開館時間

9時30分～17時 (入館は16時30分まで)

関連行事

① 記念講演会「郷土の海を描いた播磨の画人たち」

日時：令和4年11月6日(日) 14時～15時30分

定員：30名

講師：高瀬晴之氏 (姫路市立美術館学芸員)

② 展示解説

日時：令和4年10月10日(月・祝) 14時～15時

定員：20名

解説：柏山泰訓氏 (室津海駅館・室津民俗館専門委員会委員長)

③ ワークショップ「ステンシル技法で室津の魚を描こう!」

日時：令和4年11月20日(日) 14時～16時

内容：「室津の海」をテーマに、旗やエコバッグを制作

対象：小学生以上 (低学年は保護者同伴)

定員：10名

講師：谷口文保氏 (神戸芸術工科大学准教授)

※①③は事前申込必要。いずれも参加費無料 (②③は入館料必要)。

主催：たつの市教育委員会

企画：室津海駅館・室津民俗館専門委員会

休館日：月曜日(10月10日を除く)、10月11日(火)、11月4日(金)・24日(木)

入館料：高校生以上200円 小中学生100円

《室津民俗館共通券》高校生以上300円 小中学生150円

※「ひょうごっ子ココロカード」提示で無料。

11月5日(土)・6日(日)は関西文化の日につき入館無料。

(期間中、一部展示品の入れ替えあり)



問い合わせ
申し込み

たつの市立 室津海駅館 TEL:079-324-0595

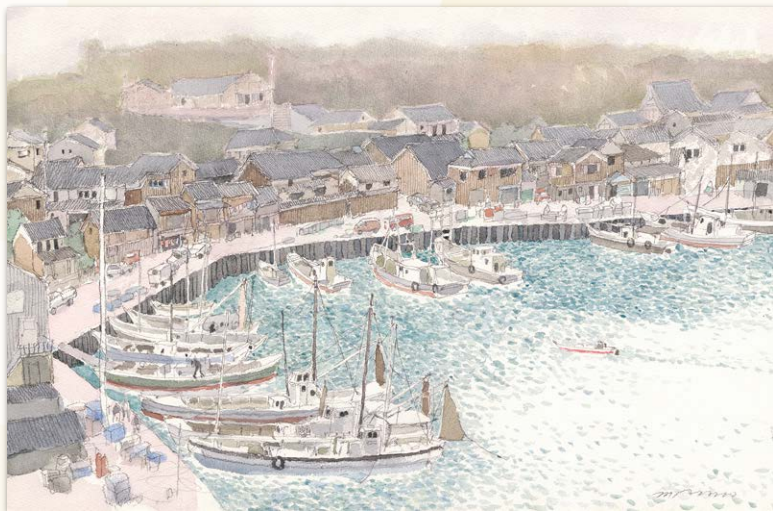
<https://www.city.tatsuno.lg.jp/bunkazai/kaiekikan-minzokukan.html>

〒671-1332 兵庫県たつの市御津町室津457

新型コロナウイルス感染症の状況により、内容を変更する場合があります。



室津夏越祭 乾太 個人蔵



室津漁港 安野光雅 ©空想工房 提供 安野光雅記念館蔵（展示は複製品のみ）

描かれた室津 ～竹久夢二から森崎伯霊まで～

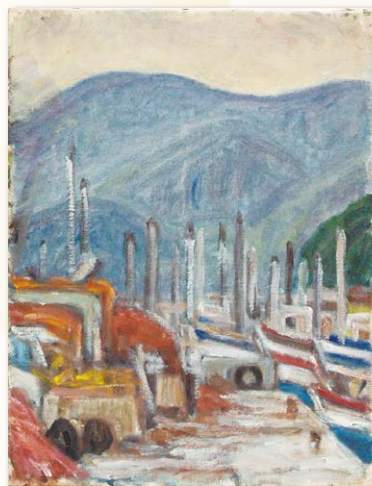
室津は古代より瀬戸内海航路の要衝として栄えた港町です。江戸時代には、北前船をはじめ、朝鮮通信使、琉球使節、オランダ商館長の寄港地となりました。加えて、西国大名の参勤コースにあたり6軒の本陣を構え、海の宿駅として栄華をきわめ、その賑わいは「室津千軒」と呼ばれました。

しかしながら明治になると、陸上交通などの発達により、室津は港町としての賑わいを失っていき、今日では瀬戸内の一漁村となっています。それでも港町としての古を偲ぶことができます。「室」とよばれた地形は残り、海と山の豊かな自然と町家群の織りなす家並みが歴史の豊かさを語っています。20世紀には、この歴史の香りを求めて、多くの文人・画家が室津を訪れ、その印象を作品として残しています。

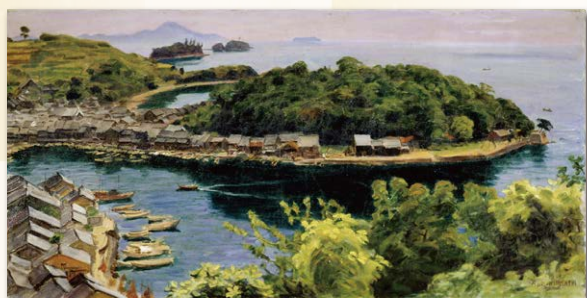
本展は、近現代に室津を訪れた画家が描いた室津の絵画を紹介します。絵画は、写真のように实景を写すものではなく、画家が目の前に広がる景色をどう見て、どう描いたのかを語っています。そこには、それを描いた画家の目というものが表現されています。いわば、画家はその絵画を見る者にメッセージを送っているのです。本展の絵画から、画家が題材としての室津に何をみて、それをどう表現したかを鑑賞してください。そこから室津という土地の魅力を再認識していただければ幸いです。



室津港 速水御舟 個人蔵



室津漁港(吉村造船所付近) 土井六郎 個人蔵



室津風景 林鶴雄 個人蔵



室津の町並み 内海敏夫 たつの市蔵



室津 梶一郎 姫路市立美術館蔵